



今回のいっぽいっぽ通信では、NPO 法人いっぽいっぽが行っている事業に協力して下さっている講師の方や当事者からの生の声をお伝えしていきます。

まずは、「交流会等でのセミナー等講演事業」で近隣の小学校でお話をいただいた桜井実奈さんと桑原隆史さんです。

## 福祉授業の感想

車イス福祉授業の話が来た時は、大勢の子供たちの前で話せるのか心配でした。でも経験者の桑原さんが「僕はこんな感じなんだけど実奈ちゃんの場合は？」と私に振って話をしやすいように誘導してくれました。私の声は小さいけれど、みんな真剣な目をして聞いてくれました。色んな質問がありましたが、一番印象に残っているのは「車イスはいくらするんですか？」という問いに「40万円くらいです」と答えたら「えー！わー！」とざわつきました。私がつけている鼻のチューブの事も聞かれたので「酸素を吸っています」とボンベを見せたら、身を乗り出していました。この授業をきっかけに車いすに乗っている人を見かけたら「こんにちは」とあいさつをしてくれたらうれしいと思います。

桜井実奈

福祉教育→最初は考え過ぎていた。教育なんて、俺なんかに出来るのか？と。

たくさんの方、いろいろな人がいて、それぞれの人生を送っていること。ダイバーシティ、多様性、みんな違う！大切なのは必要以上に比べないこと。

子供達自分自身がこれから成長、経験していく中で学ばば良い。そのきっかけの一つにと参加させてもらっている。

車椅子も健常者も「特別」ではない世の中。

車椅子利用の人も誰もが楽しく生きていこうとすること、生きていくことが大切だと思う。

この授業の経験自体が脳出血左麻痺 7 年目、俺自身の勉強だし経験、積算グラフ！とびっさり素敵な人生なんだと思っています。そして子供達の質問、疑問、意見にしっかり答える事が出来るようにしておくことが今は目標かな。

桑原隆史



続きましては、「障害者による技術指導事業」としまして、長年パッチワーク教室の講師として教えて下さっている竹下いづみさんとパラリンピックの正式種目でもある「ボッチャ」をいろいろなイベントにて披露し、多くの方にボッチャを知ってもらおう活動をしている星野繁さんからのメッセージです。

初めまして、毎月第 4 火曜日「多摩ワークショップ」でパッチワーク教室を開催しています竹下と申します。この度、コメントのお話をいただいて改めて思い起こすと、教室を始めてから今年で 13 年目になります。教室の場所も「福祉パル多摩」「多摩川の里」5年前から「多摩ワークショップ」で開催しています。生徒さんはとても積極的で興味のある作品にどんどん挑戦しています。それぞれの作品は個性的で可能性に満ち溢れています。

これからも生徒さんと一緒に楽しみながらパッチワークをしていこうと思っています。

竹下いづみ





### ボッチャ体験会

かわさきファーマーズマーケット(川崎市緑化センター)、生田緑地サマーミュージアムを会場として開催されました。

皆さんにボッチャを体験して欲しいので、「パラリンピック正式競技」ですよと声かけをして体験してもらいました。土日の開催なので、幼児、小学生の子供連れの親子が多く、ボッチャを体験される事は初めてで、ボールの重さに驚いていました。幼児さんはボールを持って投げることができないので、しゃがんだり、座り込んでボールを転がすだけで満足です。小学生になりますと勝ち負けに興味をわき、友達と3エンドの試合をしたり、親子連れの小学生はお父さんお母さんと試合をすると、負ける物かと気合を入れてするのですが、やっぱり負けると目に涙をためて悔しがったり、勝てばピョンピョンと小刻みに飛び上がりお父さんお母さんの手をしっかり握りしめて帰っていきます。

いずれのボッチャ体験会も多くの参加者で、時間の経つのも忘れて楽しい会でした。ボッチャにはそれぞれのドラマがあり、友達との絆、親子との絆を深めるひと時となります。東京オリンピック・パラリンピックでのボッチャ競技に注目して頂ければ嬉しいです。

星野 繁

「学生の体験学習の受け入れ事業」として近隣の高校性や大学生を体験もしくはボランティアとして受け入れています。その中でも日本女子大学の小山さんは授業や就活の合間を見て、いっぼ舎のボランティアとして2年生から今現在も手伝ってくれています。



私がボランティアに来てから二年が経ちました。今日までボランティアを続けることができたのは職員の方、利用者の方、ボランティアの方がとても優しく私を迎え入れてくださったからだと思います。ありがとうございます。

私はいっぼ舎でのボランティアから、ボランティアは支援する側ではなく支援される側でもあることを学びました。いっぼ舎の皆さんは人生経験が豊富で、私に多くのことを教えてくださいました。知らないことが多い私ですが、いっぼ舎の皆さんのおかげで少しは賢くなったのではないかと思います。また、私の大学生活や就職活動を気にかけてくださる方も多く、とても嬉しいです。

いっぼ舎の皆さんに支えられているおかげで、ボランティアはもちろん、学校生活やその他の生活も楽しく充実して過ごせているのかなと思います。こんな私ですが、これからもよろしくお願ひします。

小山笑奈

### 平成 30 年度事業報告

1、障害者の地域生活の自立を促進させるための福祉サービス

<メンバー登録人数>

多摩ワークショップ 26 名、いっぼ舎 22 名

<施設見学>

7 名

2、障害者による手工芸品その他アクセサリーの創作事業

<売上>

多摩ワークショップ 1,277,445 円

いっぼ舎 626,714 円

3、障害者による技術指導事業

<パッチワーク教室>

12 回開催 延べ人数 40 人参加

<ボッチャ体験>

川崎ファーマーズマーケット 4 回

多摩スポーツセンター 2 回

生田緑地サマーミュージアム 1 回

多摩市民館 1 回

合計 8 回

4、交流会等でのセミナー等講演事業

生田小学校、中野島小学校、宿河原小学校の福祉学習に講師として参加。

5、学生の体験学習の受け入れ事業

体験学習延べ人数 10 名

(向ヶ丘工業高校 4 名、日本女子大学 6 名)